

躍動する地域コミュニティ

これからもうるま
らしさを伝えたい

令和6年も平安座島のサングワチャー、各地域でのハーリー、エイサーなどをはじめとする、地域の伝統文化を守り伝える行事が多くありました。特に、屋慶名大綱引きが復活し、地域への誇りや絆が一層強力なものとなりました。

ありのままのうるまがそこにはあり、これからも地域の伝統文化を守り、次世代へとつづけるまらしさを伝えていくことで、うるまの魅力が飛躍するまちづくりが期待されます。

引き継がれて
いく伝統



復活！
屋慶名大綱引き



自らつくる喜びと、わかちあう笑顔と！ 地域のまつりは、新たなカタチとなる

市の補助金を積極的に活用し、地域住民一人ひとりが自ら考え工夫し、協力し合ってつくった地域の魅力あるまつり。そこにはたくさんの笑顔と元気、感動をつくりだし、地域コミュニティを強化する、新たなカタチがみえました。これからも市民が主役のまちづくりを目指します。



Special feature 8